



## 教官の公募について

### 記

1. 所属学科目：環境科学
2. 授業科目：総合科目の環境科学，自然の分野の地学（上記授業の他に学部・大学院の関連専門科目の担当をお願いすることもあります）
3. 研究分野：地学の領域からの環境研究，とくに第四紀以降の地球環境の変遷（現在の環境問題の理解，問題解決への志向のつよい研究者が望ましい）
4. 職名および人員：教授，助教授または講師 1名
5. 採用予定年月日：1993年4月1日
6. 応募資格：博士の学位を有する者，またはこれと同等以上の学識を有する者
7. 提出書類：以下(1)～(5)の書類を各1部
  - (1) 履歴書（研究歴，教育歴を明記して下さい）
  - (2) 研究業績リスト（主要なものの3点に○印を付けて下さい）

### い)

- (3) 主要著書・論文（コピーでも可）
- (4) 研究計画書（これまでの研究経過および研究・教育計画の要約3,000字以内）
- (5) 学会活動および社会における活動のリスト

8. 応募書類締切日：1992年11月20日（金）必着

9. 応募先：〒310 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教養部長 古井 伸哉

応募書類は「書留」とし、『環境科学』と朱書して下さい。応募についてのお問い合わせは，教養部庶務係  
Tel. 0292 (26) 1621 (内線 523) Fax. 0292 (27) 0960  
まで

### 付記

1. 選考は，当教養部「教員選考細則」により，公正に行い，選考の結果は決定次第通知します。  
なお，選考過程で面接を行うことがあります。
2. 現在本学においても，大学改革および教養部改革が検討されております。意欲のある方を望みます。

編集後記：編集委員になったこともあって、「天気」に掲載された最初の記事を知りたくなり，図書館であらためてみました。創刊号の巻頭記事は福島要一氏の「気象を通じて美しい世界を作ろう」と題する論説でした。

福島氏は，気象の影響を克服した理想の環境の獲得について論じているのですが，このなかに「より小さい気象条件が，人間の力である程度克服し得るとしたら，より大きな気象条件だって人間の力で変えられない筈がない。」という部分があります。

人間活動が原因とされる，地球の温暖化・オゾン層破壊・酸性雨などにより「大きな気象条件」が変化しつつある現状が40年前のこの言葉とオーバーラップしますが，これらの問題を克服してこそ真に人間の力といえるでしょう。「天気」も問題解決のお役に立てば幸いです。

今年の4月から編集委員になり，研究機関めぐりを担当しています。よろしくお願いします。

（井上長俊）